

2010年度地域リーダー育成助成金報告書

2011年3月5日

人間環境学部 CES 研究ゼミ

1. 2010年度の目標

このゼミは2006年に千代田区が独自のEMS（環境マネジメントシステム）である「CES（千代田エコシステム）」の策定を提案、その具体的構築に関して法政大学と「事業協力協定」を締結したことを受けて創設された。以来、5年目間にわたってさまざまな学習・実践を行ってきた。

今年度の目標は二つ、第一にゼミ生の学びを深める、第二に過去の実践をふり振り返り見直しながら関係者と連携して活動する、である。第一の目標は二つに分けられる、ひとつが千代田区という地域について学ぶことであり、もう一つがこのゼミが実践しているプログラムの基礎となる「個人の環境配慮行動」のメカニズムについて学ぶことである。

第二の実践に関しては、具体的には区役所・CES推進協議会・区民と協力して、学外でそしてキャンパス内で各種のイベントや企画を実現していくことである。

もちろん、この二つの目標は別個に存在するわけではなく、学びを実践に反映し実践により学びの課題を発見するという相互関係にあることは言うまでもない。

2. 活動内容と成果

2010年度の前期セメスターは、目標のうち学習課題から始めた。千代田区について知識を深めるために、区が作成した「千代田区行政基礎資料集」からA：人口・世帯、B：産業・経済、C：文化・教育、の3テーマを取りあげ、ゼミ生を3グループに分け各テーマを分担させた。グループ学習の結果を発表しディスカッションするという形式で学んだ。次に、区の環境行政の現状について区職員から講義を受けた。千代田区は「地球温暖化対策条例」を制定しており、「環境モデル都市」にも選定されている。区の環境に関わる施策を知ることとは活動の基礎となる。

後期の学習は、主にゼミで実施している「環境配慮行動を促進するため」の3プログラムに関するものとした。主な内容は、一つは外部講師を招いて行った特別講義である。日常的な行動が「二酸化炭素・CO₂」をどれだけ排出するか、換算表を用いて計算する方法を学び、夏のゼミ合宿を事例に交通手段の違いによって排出量がどれだけ異なるのか演習形式で学んだ。もう一つの主たる学習は、ゼミ生が考案して実践してきたプログラムの再検討およびその有効性に関しての基礎づけとなる論理の構築のためのものである。関連文献をさがし、要約して紹介するという「文献購読」が中心であったが、自分たちの活動を説得的に展開するためには不可欠の学習である。

前・後期セメスターを通して、実践活動のためのミーティングを重ねてきた。区や協議会の開催するイベントへの参加、学内でのCES周知活動は多くが後期セメスターに開催された。その内容に関しては末尾の資料「2010年度のCE

S 研究ゼミ活動一覧」を参照されたい。特に、「CES 環境講座」は昼夜間区民を対象として開催された区と環境に関するさまざまなテーマを取りあげ専門の講師による講義と区内施設へのエコツアーからなる全 8 回の講座である。この講座の開催を手伝うと共に受講生となって参加、うち 1 回は環境映画の上映と講演をゼミと協議会の共催で行った。この他、学外で行われる企業や NPO 団体が開催するセミナー・シンポジウムに参加し関心を広げることもできた。

また、学祭や「環境展」など学内で開催されるイベントへも参加、CES の広報とゼミ活動の紹介などを行った。

このような多様な学習と実践を通して、多くの成果を得ることができた。知識を増やすことはもちろんだが、自分たちの活動を通じて千代田区の環境へ関心を持ってもらうためにはどのような試みが有効であるか、考える機会を持てたことが成果と言える。このゼミは学生の主体性を前提として運営しているが、協議会とゼミとの協働について事務局や企画担当者話し合いを行ったり、学習課題の選択を自分たちで決めるなど、ゼミ生のあいだに能動的であろうとする志向性が生まれてきたのも今後につながる成果と言えよう。イベントへの準備、展示方法や活動発表など、回を重ねるごとに改善され効果を上げるようになった。

3. 課題と展望

前項の多様な活動においてももちろん多くの課題が見られる。まず第一に学習が十分に深められなかったことがある、これは教員の指導の問題であるが、事前学習の不足が指摘できる。学習課題と内容について事前準備を徹底できなかった。また、前年度からのプログラムを引き継ぐ意識が強く、新しい仕組みの提案やイベント企画が行えなかったことも今後の課題である。

協議会との連携のあり方や区の環境政策との関わりについても問題提起は行われたが、まだ明確な方向は見えていない。「協働」は口で言うほどたやすくはないことは自覚できたが、そこからどのように進んでいくのか、年度末の現在も模索が続いている。次年度の課題になろう。

こうしたゼミの活動を通して、学生は行政・企業・区民とかかわる体験をする。礼儀や言葉遣いを含めよい社会教育の機会となっていることもゼミの成果である。自分たちの想いをいかに他者に伝え、共感を得て協力を実現してゆくか、これは実践を通じてしか体得できない。学生時代の貴重な経験となるよう教員としても側面からの指導・支援を行っている。

CES 推進協議会は「環境リーダー」という制度を設けて、環境活動の企画・運営を担うボランティアを育成しているが、ゼミ生もこれに登録している。2011 年度の「ウォーキングプラス」という「まちあるき」プログラムをゼミ生が企画しており 5 月開催を目ざして現在ルートの下見を実施している。「地域リーダー育成」をめざす本助成金はこのゼミにとって最も貴重な資金となっている。ゼミ生自身が地域リーダーとして活躍できるようになること、また地域の人々にリーダーとなるよう働きかける、まさにこのゼミの活動は「地域リーダー育成」にストレートに結びついていると考えている。助成金は外部講師を招いた

り学内外での活動に要する経費にあてており、助成金がかなり異色なゼミの運営を支えている。CES ゼミの学生だからという理由で受講料を無料にしてもらえたり、講師謝礼は不要ですと言ってもらえることもあった。関係者の好意により運営されていることはありがたいことである。

このゼミが取り組んでいるのはいわばモデル（前例）の無い試みである。だからこそおもしろいとも言えるし、困難も多い。さまざまな課題もあるが、次年度のゼミ生の柔軟な思考と行動に期待をしよう。

b) 学生報告書

人間環境学部 3 年 B 組 08H0146

岡田有香（ゼミ長）

1. ゼミ概要

私たちのゼミは、2006 年 3 月に法政大学と千代田区との間で、事業協力協定が締結されたことを受け、大学生による環境政策の提案・実施をめざす場として設置された。千代田区は世界でも例を見ない人口の特性を持つ区であるため、区は独自の環境マネジメントシステムを構築する方針を打ち出した。我々のゼミでは、個人の環境配慮行動を促進する仕組みづくりを担当している。ゼミ内で考案した 3 つのプログラムを提案し、実践する活動を 2006 年以来続けている。

ここで、ゼミが考案した 3 つのプログラムについて簡単に説明する。

- ・「千代田エコポイント（略称：ちよぼ）」…環境配慮行動に対するエコポイント付与や、環境改善の貢献を可視化する活動を行う。
- ・「マイ鉢」…鉢植えの植物を配布し、区民に育ててもらうことで身近な環境に対する関心を高める活動を行う。
- ・「ちよだ検定（略称：ちよ検）」…環境問題や千代田区の歴史や自然に関するクイズを通し、区の環境へ配慮する行動を提案する活動を行う。

以上の 3 つのプログラムを中心とし、千代田区の環境配慮行動促進のために日々研究と実践を続けている。

2. 活動報告

①ゼミでの学習（毎週月曜、5・6 時限）

まず、5 月から 6 月にかけて、千代田区統計データを用いて千代田区の特色を調べた。千代田区の環境政策を考えていくうえで、まずゼミ生自らが千代田区について学び、知識を身につけた。同じく 5 月から 6 月、CES 推進協議会の品川事務局長（当時）と白井部会長から CES 推進協議会について聞き取り調査を行った。ゼミとの関わりが非常に深い CES 推進協議会の意義と取り組みについて再確認し、私たちのゼミのあり方について考えるきっかけとした。6 月、千代田区環境安全部温暖化対策課の大塚副参事によるという講義を受けた。こ

の講義では、区が現在、低炭素化のために行っている様々な環境政策を知ることができ、私たちのゼミの活動を改めて考えるきっかけとなった。11月から1月にかけて、文献購読を行った。ゼミの3つのプログラムに関する文献をグループごとに読み、実施方法の改善に役立てた。

②市ヶ谷キャンパス内での活動

学内での活動では、昨年度から継続している活動として「ちよぼプログラム」による大学内のペットボトルキャップの回収がある。現在、55・58年館、ボアソナードタワーの一部、富士見校舎のごみ箱にペットボトルキャップの回収ボックスが設置されており、今後、外堀校舎にも回収ボックスが設置される予定だ。ペットボトルキャップは400個集まると、ポリオワクチン1人分に変えることができ、途上国の子供のために使われる。

また、「マイ鉢プログラム」では富士見坂校舎の壁際に、アスターネネの花壇を設置した。緑が多いとは言えない市ヶ谷キャンパスにおいて、少しでも癒しや自然に対する愛着心を持ってもらいたいという思いから、このアスターネネを丁寧に育てている。

③キャンパス外での活動

今年度は多くの千代田区内のイベントに参加した。6月「環境リサイクル祭り」、7月「アキバグリーンフェスティバル」、10月「福祉まつり」、11月「自主法政祭」、同じく11月「環境展」、2月「CES環境フェスタ」といったイベントに出展し、3つのプログラムを実施した。ブースに訪れた区民の方々に向け、「ちよ検」の問題を解いていただいたり、「マイ鉢」を配ったり、普段のエコ行動をチェックしていただく展示を行った。地域の方々との交流の中から多くのことを学んだ。

その他にも、CES推進協議会主催の様々な環境イベントに参加をしたり、「富士エコパークビレッジ」における合宿で環境学習をしたりと、幅広い活動に力を注いできた。

(「2010年度のCES研究ゼミ活動一覧」を参照してください)

3. 今後どう活かしていくか

わたし達は、環境問題を解決するには大学・企業・行政・区民などの様々な主体の協働が必要と考えている。その主体間の連携を図っていくためにはどのようにしたらよいのか、ということの研究し実践しているのだ。CES研究ゼミでの学習は、机の上の勉強だけではなく、自分達で考え実践することにある。地域の方々との交流の中で、私達の研究を活かし、説得力のあるコミュニケーションをしなければならない。まさに、私達は環境問題解決のための地域リーダーを目指していると言えよう。

今後、社会に出て行くことを考えた時、CES研究ゼミでの経験は大きい。学生の内から企業や行政の方々と意見を交換し、共に協力し合って活動するといった機会が多くあることは、このゼミでの大きなメリットである。年齢や立場といった壁を越えて、私達ゼミ生と地域の方々が協力してひとつの課題に取り組んでいるといった実感を持つことができる貴重な場なのだ。このことは、環

境問題という領域に限らず、様々な場面で役立つ経験だと思う。CES 研究ゼミで学んだ、様々な人々を連携させるスキルを、社会人になっても存分に活かしていきたい。

以下に「2010年度 CES 研究ゼミ報告書」（3月刊行予定）に掲載したゼミ生のコラム記事から、4年生が書いたものを紹介します。

学んだこと、感じたことを今後どのように生かすか

2年生の時から3年間 CES ゼミに所属し、ゼミメンバーとして、「ちよだ検定」メンバーとして、イベント開催・参加やプログラムの実施をしてきた。この3年間で膨大な千代田区民にどれだけ環境配慮行動を促すことが出来たのかは正直わからない。けれど、少数でも環境に興味を持つきっかけを提供できていたら嬉しいと思う。

自分の身の回りの環境や環境問題を改善していくには、一人ひとりの意識を変えていくことが重要だと思う。私はこれから CES や環境政策作りから離れるが、CES ゼミで自分が学んだことや体感したことを忘れず、自分の周りの人々の意識に働きかけ、身近な所に環境の“環”を拡げられる存在でいたいと思う。

（4年 山田美紀）

ゼミで学んだこと

この一年間で、自分がどれだけのものをゼミや後輩に残せたのかはわからない。しかし、日々の活動の中で、他のメンバーの意見に耳を傾け議論を展開してきた事は、間違いなく自分を成長させてくれた。

心残りには、自分が携わったプログラムを未完成のまま後輩に託さなければいけない事だが、年度が変わってもプログラムが引き継がれ、また新たな人々によって肉付けがされていく事がゼミの素晴らしい点の一つと考え、優秀な後輩に期待したい。

僕は卒業後、千代田区に本社を置く企業への入社が決まっている。そこでも、CES というプログラムを通し、環境問題にアプローチ出来るのではないか。今後も後輩の活動を応援しつつ、自分の出来ることに取り組んでいきたい。

（4年 春山貴大）

ゼミで学んだこと

「人を動かす」ことがこんなに難しいとは知らなかった。これが、3年間ゼミで活動してきたの感想です。

人間の行動は通常、そのほとんどを自らの利害を中心に行ないます。しかしゼミでやろうとしていることは、それとはすこし異なり、本人にとっては何のメリットもないけれどもやらなくてはならない環境に配慮した行動を、知識もモチベーションも十分とはいえない、千代田区にかかわるすべての人々に促すことです。どうしたら興味を持ってもらえるか、どうしたら効率の良いシステムになるかなどを考え続け、気付いたら3年が経ってしまいました。

私は春から社会人となり、千代田区からは離れてしまいましたが、これからも自分なりの環境配慮行動を積極的にしていきたいと考えています。

（4年 深谷真理）

●資料●

2010年度のCES研究ゼミ活動一覧

- ・ 6月5日(土)
第2回 ウォーキングプラス (秋葉原→神田)
- ・ 6月8日(火)
千代田区環境月間 2010 オープニングイベント (区民ホール)
- ・ 6月18日(金)
環境・リサイクル祭り (区民ホール)
- ・ 6月21日(月)～25日(金)
第4回 ちよだランチ・エコキャンペーン
- ・ 6月28日(月)
特別講義「千代田区における低炭素化の取り組み」(ゼミ教室)
- ・ 7月17日(月)・18日(月)
アキバグリーンフェスティバル 2010 (ベルサール秋葉原)
- ・ 9月6日(月)・7日(火)
ゼミ合宿 (富士エコパークビレッジ: 山梨県富士河口湖町)
- ・ 9月25日(土)～2011年1月15日(土)
2010年度CES環境講座 (全8回) (新丸ビルほか)
- ・ 10月2日(土)
第3回 ウォーキングプラス (市ヶ谷→四谷)
- ・ 10月23日(土)
第8回 福祉まつり (千代田区・千代田区社会福祉協議会、区民ホール)
- ・ 10月31日(土)～11月3日(水)
大学祭
- ・ 11月9日(月)～13日(金)
第11回 環境展 (外濠校舎メディアラウンジ)
- ・ 11月10日(水)
東京ガス環境シンポジウム・講演と活動事例発表
(東京ガス本社ホール)
- ・ 11月15日(月)～19日(金)
第5回 ちよだランチ・エコキャンペーン
- ・ 11月24日(水)
CES環境講座 (第6回、公開講座)
地球環境映像祭受賞作品上映・講演 (外濠校舎教室)
- ・ 12月6日(月)
特別講義「地球温暖化と私たちの生活～CO2排出量を計算する～」
(ゼミ教室)
- ・ 2011年2月18日(木)
CES環境フェスタ 2010